

会津の木工製品への思いを形に創業を実現

合同会社きのわ(福島県)

木工の風合いを生かした「木はり絵」等の製造販売、平成27年10月に設立

1. 相談のきっかけ

- ・前職で培った木工製品の企画力をもとに、木工によるハイセンスなステーションリー等の製造販売会社を創業したい。
- ・事業計画の策定に関して、インターネットで支援機関を探し当拠点へ相談。

2. 課題整理・分析

- ・創業メンバーは企画やデザイン、技術面に長けているが、企業経営は未経験であった。
- ・製品開発からまったくの新規で立ち上げる事業や製品であるため、商標や意匠、特許に関する手続きの把握、また、販路拡大が課題であった。

3. 解決策の提案

- ・メンバーの強みを生かし、実現性、具体性のある事業計画となるよう、当拠点が計画づくりをサポート。
- ・知財管理については福島県発明協会を紹介。
- ・また、拠点を通じて数々のヒット商品開発経験を持つ「主婦発明家」を専門家派遣し、製品のブラッシュアップと販路開拓を支援。



4. 成果

- ・当初はステーションリーやキッチン用品での製品展開を予定していたが、事業計画をまとめていく中、初期投資低減の観点から創業当初の製品には木工版画の「つき板アート」(後に「木はり絵」と命名)を選定した。
- ・「木はり絵」とは、木材薄片に微細加工したつき板をアート作品としてキット化し、木の香りを感じながら作る楽しみ、飾る楽しみを提供するもの。知財アドバイザーから指導を受ける中でこのネーミングが生まれた。
- ・平成27年10月に会社設立が完了し、現在はネット販売の他、専門家の支援により美術教室や通信講座向けなどの販路開拓にも取り組んでいる。今後も地域事業者とのコラボレーションなどの活動を当拠点はフォローする予定。

<http://www.kinowa.co.jp/> (掲載写真は開発段階のもの)

